



九条の会事務局長・小森陽一さん同行

歴史と平和、文化の沖縄4日間

—憲法九条と「万国津梁」 響きあう平和への道



旅行日程 2024年**3月15日(金)～18日(月)**
旅行費用 **174,000円**(羽田発着基準)
168,000円(関空発伊丹着基準)
 一人部屋追加料金 15,000円
定員 **30名様**(最少催行15名様)
申込締切 第1次・1月12日(金)
 第2次・2月16日(金)
添乗員 同行いたします



- ・3/15 羽田・関空から那覇へ、南部のグスク見学【那覇】
 - ・3/16 世界遺産の勝連グスク、「肝高の阿麻和利」鑑賞、アメリカンビレッジ散策【那覇】
 - ・3/17 佐喜真美術館、沖縄国際大で小森・前泊両先生の対談【那覇】
 - ・3/18 県立博物館・美術館、那覇から羽田・伊丹へ
- 利用ホテル:ヒューイットリゾート那覇
 ■利用バス会社:琉球バス
 ■食事:朝3昼2夕2

- ◆「万国津梁」、沖縄県と日本がアジアと世界の平和・友好の懸け橋に—小森先生と前泊博盛・沖縄国際大学大学院教授が縦横に対談
 憲法九条と「万国津梁」。軍事要塞化、戦争と住民犠牲ではなく、二人の専門家が解き明かす平和と友好への知恵と道筋。
- ◆現代版組踊「肝高の阿麻和利」鑑賞。
 琉球以来の歴史と知恵を受け継ぐ中高生たち
 世界遺産の勝連グスク、15世紀の城主だった阿麻和利(あまわり)を主人公とした沖縄版ミュージカル。東アジアとの友好と交易で繁栄を築いた歴史を謳いあげる。
- ◆国際通り近くの5つ星ホテルに3連泊。
 ゆったりとからだにやさしく琉球、沖縄を満喫
 外洋に開かれた南部のグスクから始まり、佐喜真美術館の「沖縄戦の図」、世界一危険と言われる普天間基地、「万国津梁」の鐘を展示する県立博物館。ゆったり、じっくり歴史に学び、未来を考える旅。

*本誌掲載のすべての写真はイメージです。
 運輸機関のスケジュールの変更、遅延、運行の中止や道路状況などにより、宿泊地や訪問地の順序が変わったり、日程内容を変更することがあります。

(株)たびせん・つなぐへは郵送、電話、FAX、インターネットからお問合せください。郵送、FAXの場合は下記 予約票 をご利用ください。

お問合せ・申込

東京都知事登録旅行業 第3-6101号



(株) たびせん・つなぐ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-15-2クリアール神田B02 総合旅行業務管理者:大西健一
 Eメール: info@tabisen-tsunagu.com Web: https://tabisen-tsunagu.com/

企画・実施

(株) タビーズ

観光庁長官登録旅行業 第1-1906号
 東京都港区浜松町2-2-14KIビル802号

キリトリ

予約票 ツアー名

フリガナ	生年	年	月	日	性別	男・女
氏名	月日	(歳)		
住所	〒	電話()				
E-MAIL		携帯番号				
(メールアドレス)						
国内連絡先	氏名:	続柄:	〒	住所:		
					電話()	

○こちらにご記入いただいたお客様の個人情報は、当社から各種ご案内等を送る目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。
 ・マガジン発送の際に使用しているビニールの封筒は、プラスチックゴミになります。

写真はすべてイメージです

料金後納

ゆうメール

たびせん・つなぐマガジン

tsu・na・gu



目次

- **辺野古・離島のいまと沖縄の旅**
 ◇辺野古緊急レポート&石垣・与那国から P1~4
 ◇沖縄の旅 P5、27
 ◇沖縄ツアー参加の若者のとりくみ P6
- **専門家と訪ねる旅**
 ◇安斎育郎さんと行く福島(震災・原発) P7
 ◇小森陽一さん、島村輝さんと行く愛媛(大江健三郎) P8
 ◇朴慶南さんと行く佐賀・福岡(日朝・日韓交流) P9
- **自然満喫・いやしの旅**
 ◇みちのく、白神、相倉と大牧温泉 P10
 ◇八丈島、小笠原 P11
- **「世界のいま」-各界レポートと海外の旅・旅企画**
 ◇日本原水協事務局次長・土田弥生さん P13
 ◇台湾・東アジア専門家・又吉盛清さん P15
 ◇ひめゆり平和祈念資料館館長・普天間朝佳さん P19
 ◇佐喜真美術館学芸員・上間かな恵さん P21
 ◇韓国・台湾旅企画 P12
 ◇台湾の旅 P17
 ◇スペイン・ベトナムの企画 P18
 ◇スペインの旅予告 P22
 ◇モンゴル・ウズベキスタンの旅 P23
 ◇キューバ・カナディアンロッキーの旅 P25
 ◇マケドニアの旅・済州島の旅企画 P26



豊穡の海に碎石を連日投下 「海が殺される」と悲鳴

異常事態の辺野古のいま

金井 創さん
抗議船「不屈」船長



「生物多様性」の海が汚染

辺野古北側の大浦湾はわずか20平方キロの小さな場所に絶滅危惧種を含む5,800種以上の生物が暮らす、世界が注目する「生物多様性」の豊穡の海です。

辺野古の新基地建設をめぐって大浦湾側の軟弱地盤改良のための設計変更申請を沖縄県知事は認めませんでした。国は県を提訴し、県敗訴の判決を受けて知事に代わって申請に許可を出す代執行をおこない、1月10日から工事が再開されました。

以来、大浦湾には洗浄もしていない碎石が連日投下され、そのたびに海は白く濁り、汚染されています。しかも最も多様性がある場所からの工事再開に「海が殺される」と悲鳴があがっています。今回の設計変更では環境保全ができないという知事判断を無視しての工事強行。選挙や住民投票で再三にわたり示されてきた県民の思いを顧みず、地方自治を完全に否定する国の姿勢があらわです。

オール沖縄会議は1月12日、辺野古のキャンプシュワブ・ゲート前で工事再開に抗議する県民集会を開催し主催者発表で900人が参加。「今こそ力を結集し新基地を止めさせよう」との玉城デニー知事のメッセージも読み上げられました。

海上での抗議行動も続き、辺野古周辺の住民は代執行の取り消しを求める抗告訴訟を提起することを記者会見で発表しました。

沖縄の自治は神話？

かつて米国支配下にあった沖縄で全権を掌握していたのは米軍人の高等弁務官でした。その中で最も悪名高いキャラウェイ高等弁務官は、「沖縄の自治は神話である」という言葉を残しています。いまそれと同じ言葉が日本政府によって突きつけられているとしか思えません。2019年に民主主義のルールに則って県民投票がなさ



れ、新基地建設反対の民意が示されました。しかし、当時の岩屋防衛大臣は「沖縄には沖縄の民主主義があり、日本には日本の民主主義がある」と明確に沖縄の民主主義と自治を否定しました。沖縄は日本の決めたことに黙って従え、という本音を明らかにしてしまったのです。

そうした政府の本音は辺野古新基地建設において最も露骨に貫かれています。日本は法治国家でもなく、民主主義でもなく、三権分立でもない、世界の中でも劣った国である正体がさらされています。

ウソで固める軟弱地盤

それにどう立ち向かっていくか。辺野古の闘いは、今後もますます厳しさを増していくことでしょう。しかしこの闘いは決して孤立していないのだということが大きな励みであり希望です。国の強硬姿勢が増すほどに抵抗の輪も広がってきました。

これからは大浦湾の軟弱地盤を砂で固める工事が始まるでしょう。7万本をこえる砂の杭を打つのですが、沖縄では「ウソで固める軟弱地盤」と言われています。辺野古の闘いはまさにウソと違法に対する正当な活動とますます強く展開されていくでしょう。

日程緊急追加! 緊迫の辺野古訪問

九条の会事務局長 小森陽一さん同行 歴史と平和、文化の沖縄4日間の魅力

(旅のご案内は裏表紙面をご参照ください)

憲法九条と響きあう 「万国津梁」の精神

沖縄ではいま、かつての琉球王国が掲げた「万国津梁」=「世界の懸け橋」の理念が再認識されています。

日本でいえば室町時代から明治時代にかけて約450年という長きにわたって続いた琉球王国。貿易を国の直営事業とした琉球王国は、中国への朝貢貿易をはじめ日本を含むアジア各地に貿易使節船を派遣、各地を結ぶ中継貿易でアジアの海を股にかけた海洋交易の中心国として繁栄しました。

「万国津梁」は、そんな琉球王国の気概と矜持が込められた言葉でした。

沖縄では今、玉木デニー県政が掲げる「21世紀ビジョン」の基本理念として「万国津梁」が位置づけられ、様々な分野で「軍事の

要石」の沖縄から「平和の要石」の沖縄への転換が目指されています。

「万国津梁」の理念は「紛争の解決は軍事ではなく外交で」という憲法九条の精神と響きあい、沖縄戦の経験をもとにした「ぬちどう宝」(命こそ宝)の思想とも共鳴して、異文化の国と人々が対話・交流・交易するという沖縄「21世紀ビジョン」の柱となっています。

辺野古新基地建設工事 民意と自治を無視して強行

沖縄県知事の設計変更承認拒否を無視し、政府の代執行で始まった辺野古大浦湾側の地盤改良工事。連日、抗議が続く緊迫の辺野古を訪問し、地元の方からお話を伺います。

また、小森さんと元琉球新報論説委員長の前泊博盛・沖縄国際大学大学院教授(政治・経済

学)のお2人が、辺野古問題と沖縄の未来について縦横に語り合っています。

肝高(きむたか)の 阿麻和利(あまわり)

沖縄県うるま市の中高生による「現代版組踊」を鑑賞

「肝高」とは、沖縄最古の歌謡集『おもろそうし』にある古語で、「心豊か」「気高い」などを意味し、高い生活文化を誇った勝連(現うるま市)および勝連城の美称です。

阿麻和利は、その勝連城の第10代城主(按司=アジ)で、後に琉球国王と対立して滅ぼされたことから、通説では首里王府への反逆者であったとされています。しかし、『おもろそうし』には阿麻和利を英雄とたたえる歌が多く残され、また東アジアとの貿易を進めて大陸の技術などを積極的に取り入れた人物でもあったため、その評価は定まっていません。うるま市の中高生が演じる「肝高の阿麻和利」の舞台では、真に領民に慕われた民草の王として描かれています。

2000年3月の初演以来、総公演回数355回、総入場者数202,885人(いずれも23年11月現在)という、超人気でチケット入手が困難な「肝高の阿麻和利」の舞台を鑑賞します。



万国津梁の鐘

石垣島

石垣島への自衛隊配備に反対する「いのちと暮らしを守るオーバーたちの会」世話人の山里節子さんにお話をうかがいました。

山里 節子さん



縮させられるなんて許せません。

会では、毎週日曜日の夕方、島のあちこちで、スタンディングでアピールをしています。力の弱いオーバーたちですが、息の長い運動を続けていきたいと思っています。

Q 集会などで八重山民謡の「トゥバラマ」の節にのせて思いを表現されていますね。

山里 口下手なので、唄でアピールしています。

母が早くに亡くなり、明治7年生まれのお祖母に育てられ、子どものころから大人たちの唄を聞き、大きくなって自分でも唄うようになりました。

「トゥバラマ」は、もともと叙情歌でメロディーは決まっていますが、集会では島の心を即興で歌っています。

2023年3月に「島々を戦場にさせない!全国集会in石垣島」で山里さんが唄った「トゥバラマ」の共通語訳

「脚3つ(杖をついて脚が3本)になり、腰も曲がって、地面の匂いを嗅ぐような歳になったけれど、闘いの手は、絶対に緩めることはない!」



石垣市新港地区に配備されたPAC3。2023年6月3日



Q 山里さんの平和への思いの背景には、何があるのでしょうか?

山里 「軍隊は住民を守らない」という本質を、私は身をもって体験しました。

予科練に行く兄は米潜水艦の魚雷を受け亡くなりました。防空壕の中で妹は栄養失調で亡くなりました。家族はマラリア有病地に強制疎開させられ、母と祖父はマラリアで亡くなりました。あの戦争がなければ、島に軍隊が来なければ、4人は死なずに済んだはずです。

それと、高校生の時に琉米文化会館で英語を学んだ私は、米軍占領下でおこなわれた地質調査の助手をしました。この調査は島の軍事化を念頭に置いたものでした。そのことを後で知り、贖罪の意識を持ち続けてきました。

Q 「オーバーたちの会」は、どのような経緯で作られたのですか?

山里 防衛省が最初に駐屯地建設の説明に来た時、「建設を前提にした説明なんか聞く必要ないでしょ」というのが会場の外にいたオーバーたちの意見で、集会後に「なんとかしようよ」と話し合っって会を作りました。

「戦争」という言葉は石垣の島言葉にはありません。沖縄戦後、島には軍隊も基地もなく、「唄の島」「踊りの島」で皆穏やかに暮らしてきました。ところが最近では、島の祭りに迷彩服姿の自衛隊員が参加したりもしています。島の平穏が突然覆され、住民が委

与那国島

防衛強化に揺れる島

猪股 哲さん



「隣国の脅威」と無縁だった島

2004年、仙台から世界一周に向けて旅立った僕はなぜか与那国島に住み着き、2007年から料理をはじめ、今では与那国でイタリアンレストラン「Ristorante TETSU」のオーナーシェフをやっています。

日本最西端の「国境の島」を初めて訪れた当時、「隣国の脅威」の話は聞いたことがありませんでした。海んちゅ(漁師)のおじーが洋上で台湾の船と物々交換したとか、外国との交流はいつも笑顔で話すネタでした。現在の不自由な経済交流の足かせを振り切って海外と交流した記憶が、まだ色濃く残る時代でした。

自衛隊誘致で島は2分

そんな与那国島が軍事と無関係でないと思知らされたのは、2007年でした。米海軍の掃海艇2隻が与那国町の祖納港に入港しました。名目は「友好親善と乗員の休養」でしたが、台湾有事を想定した港湾や空港の事前調査が目的でした。その時から島は自衛隊誘致へと大きく舵を切り始め、本土マスコミの「台湾有事」の大合唱も島に響きました。

掃海艇入港の時、港まで抗議に出かけましたが、米軍に対して抗議などしたこともない住民たちは港に集まっても戸惑っていました。自営業をしている友人に「一緒に行こう」と声をかけると「私は客商売をしているから」と断ら



れました。小さな島の中ではすでに自衛隊誘致をめぐって意見の対立が顕在化し始めていることを感じました。

それからは、議会や首長の選挙ではつねに、島は2分されてきました。自衛隊誘致の是非を問う住民投票がおこなわれたのは2015年2月でした。結果は6割が賛成、4割が反対でした。「民意」って難しいなと思いました。

そもそも、住民投票前年の2014年4月にはすでに、小野寺五典防衛相(当時)が与那国島に来て自衛隊施設建設の着工式典をおこなっています。自衛隊配備の下準備は着々と進められ、住民の中には「いまさら」の感もあったと思います。

軍事で住民は守れない

住民投票で問われたのは陸上自衛隊の沿岸監視部隊と沿岸監視レーダーの配備の是非でした。賛成派は「隣国の脅威」ではなく、「陸自配備による人口増加」「島の活性化」や「経済効果」を訴えました。

確かに隊員やその家族の分、人口は増えました。しかし、もともとの島民の人口減少、本来の意味での島の過疎化には歯止めはかかっていません。一時の「経済効果」を求めた町長たちは、政府・防衛省や自衛隊上層部が当初から描いていた南西諸島への自衛隊配備の本当の意図には、まったく気づいていなかった、と思います。

与那国にミサイル部隊まで配備する計画が明らかにされ、有事に備えたシェルター建設の話まであります。「自衛隊が居るから安心」だったはずが、「基地があるから攻撃される」という現実へと、本末転倒の事態の転換が起こっています。

「台湾から110^{キロ}しか離れていない与那国島は危険」と言う人がいます。しかし、島に軍事目標が作られてしまったから危険なんです。

軍事で住民を守ることはできません。

安齋育郎さん
同行



「沖縄戦の図」から読み解く過去と現在 離島の軍事拠点化のいまを見て考える旅 —宮古島・本島4日間



保良ミサイル基地2022.4.10.04

旅行日程 '24年6月30日(日)~7月3日(水)
旅行費用 169,000円(羽田空港発着)
159,000円(関空発伊丹着)
124,000円(那覇空港集合解散)
添乗員 同行いたします
定員 30名様(最少催行20名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 5月31日(金)



◀航空自衛隊宮古島分屯地に配備されたPAC3

◆宮古島で自衛隊基地に挟まれた集落訪問、住民との交流

ミサイル配備反対の監視行動で連日座り込みを続ける保良地区、民家の軒先から数百m先にそびえるミサイルの発射台や弾薬庫の数々、住民の皆さんとも交流し、軍事拠点化される離島の現実を「自分ごと」として考える旅。日本軍「慰安婦」アリの碑なども訪問。

◆体験者の思いが結実した「沖縄戦の図」

沖縄に通い続け、体験者の話に全身全霊を傾けた丸木位里・俊夫妻が描き上げた「沖縄戦の図」。安齋先生と、佐喜眞美術館の佐喜眞館長・上間学芸員、そしてひめゆり平和祈念資料館の普天間館長による座談会「絵画、体験者の証言から見る戦争」を開催。リニューアルされたひめゆり平和祈念資料館も訪問。

6/30羽田、関西から宮古島へ出発。到着後、野原・千代田の自衛隊基地、アリの碑など見学【宮古島】 **7/1**保良演習場見学、反対運動の方と交流。午後宮古から那覇へ、到着後ひめゆり平和祈念資料館見学【那覇】 **7/2**普天間基地周辺でフィールドワーク。佐喜眞美術館で座談会【那覇】 **7/3**首里城見学。那覇空港に集合し、羽田・伊丹へ
■利用航空会社:全日空
■利用ホテル:ホテル385(宮古)、ヒューイットリゾート那覇
■利用バス会社:八千代(宮古)、小禄(那覇)または同等クラス
■食事:朝3昼3夕3

悲劇もう二度と！
戦争が起きれば、
すべての人が敗者

石垣島山里節子さん(86歳)と考える 沖縄戦と軍事要塞化 石垣・宮古島の旅



八重山戦争マリアラ犠牲者慰霊之碑

旅行日程 石垣島3日間 '24年6月23日(日)~25(火)
石垣・宮古島4日間 石垣島終了後~26日(水)
旅行代金 近日発表
添乗員 同行いたします
定員 ○石垣島3日間:20名様(最少催行15名様)
○石垣・宮古島4日間:15名様(最少催行10名様)
申込締切 5月7日(火)



◀陸上自衛隊石垣駐屯地への弾薬搬入

◆石垣島の「いのちと暮らしを守るオーバーたちの会」会長・山里節子さんが終日同行し、案内と交流

沖縄戦で家族を亡くし、日本軍による強制移住などにより発生した戦争マリアラの悲劇も体験した山里さん。86歳のいまも、戦争準備への強い不安と怒りを隠しません。6月24日には終日、山里さんが石垣島を案内。夕食時にはじっくりと懇談も。



◆6月23日、石垣島での慰霊祭。戦争マリアラの犠牲者追悼と全戦没者慰霊祭に参加
◆3日間の石垣島短縮コースと宮古島への延泊4日間コースの2コースをご用意。ご希望と条件でご選択ください

6/23午前:全国各地から石垣島集合。羽田からは全日空89便、羽田発8時05分、石垣島11時30分着予定。関西空港(関空発9時40分、石垣着12時30分)などをご相談ください。午後:石垣市主催の戦争マリアラ慰霊祭と全戦没者慰霊祭に参加【石垣島】 **6/24**終日、山里節子さん案内で石垣島見学。夕刻には懇談、懇親【石垣島】 **6/25**午前:自由行動。午後:正午過ぎの便で帰路につく方々と希望者は宮古島に移動。宮古島到着後、自衛隊のレーダー群やミサイル部隊配備基地を見学 **6/26**午前:自衛隊による実弾演習の繰り広げられている保良演習場など。午後:帰路。羽田へはJL934便で午後2時50分発、羽田着午後5時25分
■利用航空会社:全日空、琉球エアコミューター、日本航空 ■利用予定ホテル:ホテルミヤヒラ(石垣島)、ホテルアトールエメラルド宮古島または各都市同等クラス ■利用予定バス:南ぬ島交通(石垣島)、AZリゾートサービス(宮古島) ■食事:近日発表

沖縄での学びを手作りのパネルで 伝えていきます

—24歳の保育士R.Uさんのとりくみ



福祉まつり平和のひろばでの展示

昨年10/28~10/30の3日間「沖縄・平和の学びと連帯ツアー」にはじめて参加をさせて頂き、現地を見て・聞いて・知るという経験ができたこと、様々な世代の30名の方と繋がり共に学べたこと、とても良い経験となりました。

内容の濃い3日間で、中でも印象に残っているのは、宮古島の自衛隊基地と保良地区の訓練場です。軍事施設はとても広い敷地で、弾薬庫は民家から230m以内にあるという事実には驚きました。万が一弾薬庫が爆発すると避難は不可能です。そして新たな弾薬庫を今も建設中という工事の現



陸上自衛隊保良訓練場

場を目の当たりにしました。秘密裏に整備が進められ、住民には何の説明も行われず、人命無視とはまさにこのことです。この現実を知ったからには、戦争をする国に向かわせないようにこの場所ので自分ができていることを考え、声をあげることが大切だと感じました。

またガイドの下地さんの「できることをあきらめずやり続けることが勝つ秘訣」という言葉が心に残りました。一人ひとりがまずは自分にとって気になるところから知ること、それを伝えること、そして行動することが大切だと今回のツアーを通して感じました。結局平和をつくるのも、戦争を選ぶのも私たち国民であって、戦争に向かわせないために、それぞれが考えてほしいと思い、自分が見たことをまとめ、職場の保育園の職員に向けて展示・発表をしました。今ここにいる子どもたちの未

来のために、自分ごととして考えてみてほしいと思い、私の働く法人施設と地域の団体と共に開催している福祉まつりの平和のひろばで、来場した400人以上の方々に、直接伝えることができました。「実際に沖縄に住んでいる人の声を聞ける機会はないため、はじめて知ることもあり驚いた」「知ったからには自分ごととして考えていきたい、知るきっかけになってよかった」と感想を頂きました。たくさんの方に見て頂き、地域の方と一緒に考えることができたこと、とてもよかったです。

普段大阪で保育をしているだけだと、感じられなかったことを今回たくさん学びました。ぜひ若い世代の人にも、積極的に参加し、現地に行って体感し、現状を見て自分ができていることを考えてほしいと思いました。

安齋育郎さん
同行



能登半島地震と志賀原発の異常 福島で考えるエネルギーと農業の未来

- 旅行日程 '24年3月10日(日)~12日(火)
- 旅行費用 68,000円(いわき駅集合郡山駅解散)
- 定員 30名様(最少催行15名様)
- 添乗員 同行いたします
- 申込締切 3月1日(金)



式典であいさつする安齋さん



伝言の灯・非核の火

3/10いわき駅集合、大熊町で帰還困難区域のフィールドワーク【広野】 3/11午前:安齋育郎さん、伊東達也さんのお話。午後:宝鏡寺での式典に参加【郡山】 3/12二本松営農ソーラーの農場見学。郡山駅解散
■利用ホテル:ハタゴイン福島広野、郡山ワシントンホテル ■利用バス会社:ブルー観光 ■食事:朝2昼2夕2

◆「隠すな、ウソつくな、過小評価するな」

能登半島地震で震度7を記録し、5本の外部電源のうち2本が使えなくなった志賀原発。しかし、北陸電力や政府は「異常なし」を繰り返します。2011年の福島第1原発事故の際、「隠すな、ウソつくな、過小評価するな」と提唱した安齋先生が今回の「異常」に警鐘を鳴らします。

◆事故原発から3年、被災の現場に

津波で父と妻、次女が行方不明となった大熊町の木村紀夫さん。震災当日の夜、自宅跡に駆け付け家族を探しましたが、原発事故で避難。次女汐風(ゆうな)さんの遺骨の一部が発見されたのは5年9か月後でした。木村さんと現場をめぐる。

◆農業×再生可能エネルギー

農業と太陽光発電を組み合わせた営農型発電(ソーラーシェアリング)の農場を見学。9歳で被災し、19歳で故郷に戻って新しい農業の形に取り組む塚田晴さんが案内人です。

福島から始まっている新しい農業の形 塚田 晴

農業と太陽光発電

株式会社Sunshine(サンシャイン)農場長の塚田晴と申します。Sunshineは、福島県二本松市で「ソーラーシェアリング」という形の農業を行っています。

ソーラーシェアリングとは、農地に間隔を取ってソーラーパネルを設置することによって、作物とパネルで太陽光をシェアして農業と発電を両立できる仕組みです。作物が必要な量の太陽光は確保しているの、生育に悪影響は及ぼしません。むしろ、強すぎる光による日焼けから作物を守ったり、放射冷却を防いで霜が降りるのを防いだりするなどのメリットがあるとも言われています。また、売電で得た利益は、農家の持続的な経営を支えます。さらに、山を削って自然や景観を壊すことなく再生可能エネルギーを生産できることから、今注目されています。



二本松営農ソーラーは2021年に完成しました。耕作放棄地を切り開いて作った国内最大級6ha(東京ドーム約1.2個分)のソーラーシェアリング農地では、シャインマスカットや巨峰など7種類のぶどうや、えごま、大豆、小麦、マスタードなどの穀物を育てているほか、牛の放牧も行っています。また、それらの加工品も販売しています。

9歳で被災、農業を志し故郷二本松へ

私は二本松市の出身ですが、9歳の時に起こった震災をきっかけに母の実家がある兵庫県に家族で自主避難しました。二本松に住んでいたとき有機農家の方にお世話になっており、野菜を買うだけでなく田植えや稲刈り体験をさせてもらうなど幼い頃から農業に親しんできました。そんな経験や、震災後大変な思いをされている農家の方々の力になりたいという思いから農業を志すようになり、三重県にある愛農学園という私立農業高校に進学して農業を本格的に学びました。高校在学中にSunshineのプロジェクトを知り、代表の近藤恵から誘いを受けて入社しました。

福島から始まっている新しい農業の形を、是非ご自身の目で確かめてきてください!

小森陽一さん
島村輝さん
同行

大江健三郎のふるさと
愛媛「谷間の村」で

作家の素顔にふれる旅



タキユリ



- 旅行日程 '24年7月5日(金)~8日(月)
- 旅行費用 140,000円(羽田発着基準)
98,000円(松山空港集合、高知空港解散)
航空券手配をご希望の方はご相談ください。
- 定員 30名様(最少催行15名様)
- 添乗員 同行いたします
- 申込締切 5月20日(月)

7/5羽田から愛媛・松山空港、大洲城跡見学(変更の可能性あり)【大洲】 7/6大江さんのふるさと大瀬で地元の方の案内でゆかりの地を訪問し、地元の方々と交流。小森さん、島村さんのお話【大瀬】 7/7高知の橋原村で「ゆすはら座」見学【橋原】 7/8高知県立牧野植物園訪問。高知空港から羽田
■利用航空会社:全日空 ■利用宿泊施設:オオズプラザホテル(大洲)、大瀬の館・いかだや(大瀬)雲の上のホテル別館(橋原) ■利用バス会社:伊予鉄バスまたは同等クラス ■食事:朝3昼3夕3

◆大江健三郎ゆかりの皆さんとの交流

昨年3月に亡くなったノーベル賞作家・大江健三郎さん。数々の作品に登場する「谷間の村」は、ふるさと大瀬瀬村(現愛媛県内子町大瀬地区)がモデル。ここを訪ね、大江さんゆかりの人々との交流で、作家の意外な素顔にふれます。

◆小森さん、島村さんの両国文学者が、大江さんの人と作品を縦横に

国文学者としてともに大江文学を読み解いてきた小森さんと島村さん。旅ではお二人が、「谷間の村」の物語で大江さんが何を伝えようとしたのか、「谷間の村」の風土と伝承を通じて世界を描いた大江文学の真髓に迫ります。

◆朝ドラ『らんまん』のモデル牧野富太郎の植物園も訪問

大正時代の和洋折衷様式を取り入れた高知県下唯一の木造芝居小屋「ゆすはら座」も見学。また、朝ドラ『らんまん』のモデル牧野富太郎博士ゆかりの高知県立牧野植物園も訪問。「シロバナクス」や「タキユリ」などが見頃です。



大江健三郎の生家

ふるさと全体が 大江健三郎の資料館

大江健三郎の甥
石村 淳



大江健三郎さんの長姉が私の母ですから、作家の彼は叔父にあたり、植木屋の私は甥になります。叔父は普通の「おじさん」ではないオーラを持った人でしたが、とても謙虚な人でもありました。

故郷(旧大瀬村、現内子町大瀬地区)の人たちは、叔父のことを「健三郎さん」と呼んでいます。同年配か上の人たちは「けんちゃん」ですね。

宴席である人が叔父にビールをつぐとき「先生どうぞ」と言ったら、「僕は先生をやっていません。作家を仕事としているのは、皆さんのそれぞれのお仕事と一緒にです。先生とは呼ばないでください」と言っていました。

お酒が大好きで、お酒が入るととにかく人を楽しませよう、笑わせようと面白い話ばかりをしていました。難しい話はまったくしませんでした。自分の作品についても、「面白くないから読まないほうが良いですよ」「難しい小説をたくさん書いてみんなに迷惑をかけたから、僕が死んだら早く忘れてもらいたい」なんて冗談めかして言っていましたね。

私は大江健三郎の本は全部読んでいます。故郷の「谷間の村」の歴史や伝承を題材にした作品もたくさんありますが、実際の大瀬とはちょっと違うんですね。

作品から感じる息遣いやおいから、ほんやりと見えるものもあるんですが、そのことを叔父に話すと「あっ、そうですよ」みたいな返事で、明確な肯定も否定もしない。だから大瀬には「ここは大江健三郎の〇〇です」みたいな看板はっさいありません。

「大瀬に大江健三郎資料館を作るべきだ」と言う人もいますが、私たちは大瀬全体が大江健三郎の資料館だと思っています。

芥川賞、谷崎潤一郎賞、野間文芸賞、ノーベル文学賞など様々受賞していますが、それらの賞状やメダルはすべて実家の母、つまり私の祖母のところに持ってきていました。

賞金で自転車を買ってもらったこともありましたが、芥川賞の受賞記念に東大の原稿用紙に冒険小説を書いてもらったのが、今でも大切なお宝です。

朴慶南(パク・キョンナム)さんと行く 日朝・日韓の友好の歴史に学ぶ佐賀、福岡4日間 —— 有田焼・名護屋城・吉野ケ里・祇園山笠



旅行日程 '24年7月12日(金)～15日(月)
旅行費用 173,000円(羽田発着基準)
 164,000円(伊丹発着基準)
 133,000円(福岡空港集合解散)
定員 27名様(最少催行17名様)
添乗員 同行いたします
申込締切 5月7日(火)

◆朴慶南さんによる旅先での講演や夕食交流。学びのある温かな時間を共有
 作家で日本と韓国の架け橋として活躍する朴慶南さんが全日程同行。慶南さん目線のお話
 も楽しみに。旅の4日間、慶南さんと語り、食べ、飲み、そして温かさで生きる勇気をもらえる
 旅。

◆豊臣秀吉による朝鮮侵略の拠点・名護屋城と朝鮮人李三平が創業した有田
 焼。侵略と友好への努力を訪ねる旅
 稲作、仏教、青銅器…。朝鮮半島からの文化が伝わる道だった九州北部。その地に秀吉が築
 き、全国の武将10万人を集め朝鮮を攻めた拠点の名護屋城。いくさの際に朝鮮から連れて来
 られた多数の陶工。その一人李三平が創業した有田焼。いまも有田の人たちに慕われている李
 三平第14代が特別に案内する有田の里。侵略の爪痕を乗り越える友好への努力を訪ねます。

◆玄界灘に面した料理自慢の宿や博多祇園山笠の日に博多滞在。九州陶磁文
 化館や西日本最大の弥生遺跡「吉野ケ里」もたっぷり。観光の魅力も満載
 2日目の宿は呼子のイカで有名な料理自慢の宿。3泊目は博多のホテル、翌朝には博多祇園
 山笠のフィナーレ「追い山笠」。800年近い歴史を持ち300万人が見物する祭りをたっぷり堪能。
 有田焼はもちろん九州全域の陶磁器を一堂に展示している美術館や西日本最大規模の弥
 生集落を復元している吉野ケ里遺跡もゆったりと。

7/12羽田・伊丹空港から福岡空港へ、九州
 陶磁文化館訪問【伊万里】 7/13午前:14
 代目李参平さん同行で李参平窯、李参平の
 碑、ギャラリー?ベクパソン。午後:佐賀県立
 名護屋城博物館【呼子】 7/14午前:吉野
 ケ里遺跡。午後:九州歴史資料館訪問、朴慶
 南さんの講話【博多】 7/15早朝4時59
 分、ホテル近くの櫛田神社で博多山笠。飛行
 機の時間まで自由行動。福岡空港から羽田・
 伊丹空港へ
 ■利用航空会社:全日空、日本航空■利用バ
 ス会社:マリン観光バス■利用ホテル:セント
 ラルホテル伊万里、大望閣(呼子)、博多中洲
 ワシントンホテルプラザ

侵略と交流の舞台 佐賀、福岡で見たこと、感じたこと

大西 健一
 (株)たびせん・つなく
 代表取締役

1592年、天下統一を果たした豊臣秀吉が中国、明
 征服の野望に燃え、手始めに朝鮮を侵略。拠点とし
 て佐賀県唐津の玄界灘を望む半島に、徳川家康など
 全国の武将を集め、わずか半年で10万人に及ぶ城
 下町を築きました。中心には大阪城に匹敵する名護屋
 城。300年後の1895年(明治28年)、日本軍部の命
 を受けた暴漢に朝鮮王朝の明成皇后が王宮で暗殺さ
 れます。十五年後の「朝鮮併合」のため「邪魔」だ
 った王妃の殺害で、凶器とされる刀が奉納されてい
 るのが福岡博多の櫛田神社。博多祇園山笠が奉納される
 博多の総鎮守です。



他方九州
 北部は古代
 以来中国、
 朝鮮との交
 流、友好の
 道でもあり
 ました。西
 日本最大の

弥生遺跡「吉野ケ里」、日本最古
 の水田跡や青銅器文化など朝鮮
 半島から伝わった息吹がそこか
 しこで感じられます。

有田焼の陶祖、秀吉の朝鮮侵
 略の際に連れてこられた陶工の
 一人「李三平」の名前を聞いた
 ことがあるでしょうか。彼こそが
 美しい白磁に適した磁石場を発見し、有田焼、伊万
 里焼を創業した人物です。日本が朝鮮を力づくで「併
 合」した7年後、町の人たちの総意で「陶祖李三平碑」
 が町の高台に建立され、いまも民族の垣根を越えて有
 田の町の人たちに愛されています。一時途絶えていた
 李三平窯が「日韓の友好」のために子孫の手で復活し、
 いま十四代が素晴らしい作品を作陶しています。

侵略と憎悪、それを乗り越える歴史と努力。ヘイトと
 戦争への足音が聞こえる今だからこそ、歴史の流れと
 友好への努力を感じる九州北部。足を運んでみませ
 んか。



みちのく人情・癒し旅 3日間



旅行日程 '24年5月17日(金)
 ~19日(日)
旅行代金 69,000円
 (釜石駅集合、八戸駅解散)
定員 15名様(最少催行10名様)
申込締切 4月12日(金)
添乗員 同行いたします

- 三陸鉄道の他、多くの乗り物を乗り継いで、旅気分満喫。
- 釜石の宿・宝来館では夕食後、女将から震災当時のお話。
- 八戸沖繩の会の方々によるふるさと自慢にあふれたあたたかいおもてなし。
- 東日本大震災からの復興のシンボル「みちのく潮風トレイル」変化に富んだ景色と可憐な花々を楽しみながら歩きます。起伏が少ないので初心者でも安心。

5/17 午後、釜石駅集合(三陸鉄道)鶴住居駅。宿では女将
 の震災時のお話【釜石】 5/18 鶴住居駅(三陸鉄道)宮古駅
 ■奥浄土ヶ浜観光 ■宮古駅(三陸鉄道)久慈駅 ■本八戸駅【八
 戸】 5/19 八戸沖繩の会のおもてなしプログラム。午前、ホ
 テル発→館鼻岸壁朝市→蕪島神社。種差海岸まで、みちのく
 潮風トレイル歩き(約3時間)→是川縄文館→午後八戸駅解散
 ■利用ホテル:宝来館(釜石)、八戸グランド(八戸)(釜石は4
 名部屋、八戸は2名部屋)■利用バス:三八五バス又は同等ク
 ラス(5/19のみ)■食事:朝1昼2夕2

白神山地ハイキングとマタギ文化に触れる旅 4日間



旅行日程 '24年5月20日(月)
 ~23日(木)
旅行代金 72,000円
 (新青森駅集合、角館駅解散)
定員 15名様(最少催行10名様)
申込締切 4月12日(金)
添乗員 同行いたします

- 世界遺産の白神山地をハイキ
 ングガイドの案内でゆったり
 歩きます。高低差もほとんどな
 いので初心者でも安心。
- 秘境の宿・マタギの湯では、マ
 タギの文化にとっぷり浸かっ
 てください。
- 一度は乗ってみたい人気の
 五能線、のどかな日本の里山の中を走る奥羽本線と秋田内陸
 線。ローカル線でのんびり旅するのも旅の醍醐味!

5/20 午後、新青森駅集合、列車又は専用車にて宿へ【深浦】 5/21 終日、ハイキングガイドの案内で白神山地ハイキング(約4時間)【深浦】
 5/22 午前、十二湖駅から五能線、奥羽本線、秋田内陸線に乗継ぎ、阿仁マタギ駅。マタギ資料館見学。マタギの語り【打当温泉】 5/23 午前、
 阿仁マタギ駅から秋田内陸線にて角館駅、着後解散
 ■利用宿泊施設:アオーネ白神十二湖(深浦、4~6名部屋)、マタギの湯(打当温泉、4名部屋) ■利用予定バス会社:三八五バスまたは同等クラス ■食事:朝3昼2夕3

癒されたい人、集まれ~! 相倉集落&大牧温泉に泊まるほっこり富山 3日間

- 世界遺産の相倉集落の合
 掌造りの宿を一棟貸し切
 り。食事もおもてなしも毎
 回大好評!
- 船でしか行けない秘境の
 大牧温泉に宿泊。宿への
 船旅も旅情たっぷり
- 伝統工芸が息づく町・高岡
 では錫でオリジナルアクセ
 サリー作りを体験

旅行日程 '24年5月8日(水)
 ~10日(金)
旅行代金 69,800円
 (新高岡駅集合・解散)
定員 15名様
 (最少催行12名様)
申込締切 4月5日(金)
添乗員 同行いたします



5/8 午後、新高岡集合 ■城端駅、城端山山会館 ■相倉【相倉】 5/9 世界遺産の相倉集落を自由散策 ■小牧港 ■大牧温泉【大牧温泉】 5/10
 大牧温泉 ■小牧港 ■高岡。錫のアクセサリー作り体験後、徒歩観光しつつ高岡駅へ ■新高岡駅解散
 ■利用予定宿泊施設:なかや又は五三門(相倉)、大牧温泉(大牧温泉) ■利用予定バス:となみ観光交通 ■食事:朝2昼2夕2
 ※相倉はご参加人数により、分宿となります。部屋の仕切りは襖、プライベート感が高くありません。大牧温泉は4~5人部屋基準。

都心から一番近い南国 ベストシーズンの八丈島ふれあい旅 4日間



大阪トンネル展望 (一般社団法人八丈島観光協会提供)

旅行日程 '24年4月10日(水)~13日(土)
募集型企画旅行代金 79,000円(八丈島空港集合・解散)

【別途手配】
手配旅行代金:航空券代(47,000円)
*羽田⇄八丈島の航空券は、別途、手配旅行契約としてお引き受けします。手配手数料3,300円
*お客様は、当社と募集型企画旅行契約と手配旅行契約を締結いただくことになります。
(旅行代金総額129,300円)

定員 20名様(最少催行12名様)
申込締切 2月7日(水)
添乗員 同行いたします



三根婦人会の皆さん



川瀬喜重子さん

◆八丈島在住の弊社お客様・川瀬喜重子さん全面協力。観光だけじゃない八丈島を伝えたい!

地元婦人会の方々に島すしの作り方を教わったり、八丈島の太鼓や踊り、歌などの郷土芸能の伝承を目的とする団体・加茂川会の方々と交流したり...島から、たくさんの笑顔と元気をもらえる旅。

◆都心から一番近い南国・八丈島へ「おじゃりやれ」(いらっしゃい)

羽田空港からたったの55分で別世界へ。どこまでも広がる海と空、2つの火山が生み出した絶景と温泉、満天の星空、黄八丈、八丈太鼓、海の幸と島酒...島の自慢は枚挙に暇がない。魅力たっぷりの八丈島にベストシーズンに訪れます。

◆お泊りは地元の方お勧め、あったかいおもてなしと料理が評判の民宿「そこだ荘」

部屋の定員が異なったり、お風呂は順番に利用したりと、ホテルのような便利さはないかもしれませんが、まるで田舎に帰ってきたような居心地。お友達とたっぷりおしゃべり、初めて同室になった方もすぐに仲良くなってしまふ、そんなアットホームな宿に3連泊。

4/10正午頃、羽田発八丈島へ。午後、島内観光(ふれあい牧場、歴史民俗資料館など)【そこだ荘】 4/11終日島内観光(大阪トンネル展望、服部屋敷、黄八丈染元、みはらしの湯入浴など)【そこだ荘】 4/12地元婦人会と島すし作りで交流。島酒製造元見学と試飲など【そこだ荘】 4/13黄八丈を使ったアクセサリー作り体験。加茂川会のみなさんと交流。午後、羽田へ
■利用予定宿泊施設:そこだ荘(民宿ですので、部屋の定員異なり、風呂も順番) *一人部屋は追加料金 ■利用予定バス:八丈島町営バス ■食事:朝3昼3夕3

サトウクジラのシーズンに行く

世界遺産の父島6日間



旅行日程 '24年4月21日(日)~25日(金)
旅行代金 近日発表(竹芝客船ターミナル発着)
おがさわら丸2等寝台利用、民宿は2名以上1室利用、バス・トイレ共用。
*おがさわら丸船室のグレードアップご希望の場合ご相談ください。

定員 8名様(最少催行6名様)
申込締切 3月22日(金)
添乗員 同行いたします



4/21 11:00東京(竹芝)より小笠原へ出航【船内泊】 4/22 11:00小笠原父島到着。午後、現地ガイドと一緒に小笠原の自然や絶景ポイントを散策【父島】 4/23 ポートでイルカやサトウクジラをウォッチング。上陸人数を制限しながら自然環境の保護と利用を進めている無人島「南島」に上陸予定【父島】 4/24 世界自然遺産の森をウォーキング。様々な環境に合わせて進化している父島の独特な生態系をネイチャーガイドが丁寧に案内【父島】 4/25 午前中は自由行動、午後、父島より東京へ向け出航【船内泊】 4/26 15:00東京(竹芝)到着予定。解散
■おがさわら丸2等寝台利用 ■利用民宿:ウエスト、ペンションキャベツビーチまたは同等クラス ■食事:朝3昼2夕2

◆小笠原諸島は今まで一度も大陸と陸続きにならなかったことがない海洋島。独自の進化を遂げた希少な固有種や海洋生物をたっぷり満喫

◆小笠原スタイルを満喫するため、定員8名様まで。少人数だからこそ楽しめる自然遺産小笠原の旅

◆添乗員同行で安心・安全の旅。現地を熟知しているネイチャーガイドの案内で自然遺産の小笠原をたっぷりとお楽しみいただきます

世界のいま 各界のレポートと海外の旅

日清戦争130年、日露戦争120年 節目の年に 日韓の歴史と平和の道を探る韓国の旅(7月)を企画 植民地歴史博物館(韓国)が全面協力

今年・2024年は、日清戦争(1894年)、日露戦争(1904年)の開戦からそれぞれ、130年、120年の節目の年に当たります。

両 戦争は日本と清(中国)・ロシアという列強国間の戦争でしたが、戦場は朝鮮半島。日本軍は朝鮮・韓国の甲午農民戦争やその後の義兵闘争などを武力鎮圧し、朝鮮半島の多くの人々を殺害しました。この戦争はまさに、天皇制日本帝国主義による朝鮮・韓国への侵略・植民地獲得戦争でした。

日本はその後、1910年に韓国を植民地化し、中国侵略・第2次世界大戦へと突き進み、沖縄戦や原爆投下といった破局への道をたどります。

ウ クライナやガザでの戦争、そして南西諸島をはじめとする日本全

土での軍備増強・軍事拠点化が進む今だからこそ、「たびせん」は、130年、120年前に帝国主義国・日本が歩んだ侵略戦争と植民地化政策の歴史を学び、平和への道を探る韓国の旅(7月予定)を企画します。

エ の旅では韓国・ソウルの植民地歴史博物館の全面協力のもと、歴史の現場

へのフィールドワークや、地元のみなさんとの交流を通じて、日韓市民の友好と連帯をめざします。

旅の詳細は近日発表。お問い合わせいただければ、決定次第、ご案内いたします。



植民地歴史博物館

台湾の「脱原発」政策にも注目!!

今年は、近代日本初の海外派兵だった台湾出兵(1874年)から150年に当たります。このことは、15、16ページの又吉盛清・沖縄大学客員教授の寄稿をご覧ください。

台湾では今年1月13日に総選挙がおこなわれ、民進党主席の頼清徳氏が当選しました。「対中強硬派」といわれる民進党の政権は2016年以来これで3期連続となり、今後の台湾と中国との関係にも関心が集まっています。

同時に、民進党政権が掲げる「脱原発」政策の今後にも注目です。

2011年の福島第1原発事故を受け、台湾は原子力依存の漸減を打ち出します。2016年の蔡英文・民進党政権は「非核家園」(原発のないふるさと)を掲げ、2020年にも引き続き与党となった民進

党は「2050年ネット・ゼロ排出へのロードマップ」を発表。6機の原発のうち第1、第2原発の計4機はすでに閉鎖され、第3原発も1号機が今年7月、2号機が来年5月に閉鎖予定です。

また、1999年に着工した第4原発は建設反対運動によって、1号機はほぼ完成後運転開始前に停止、2号機は直ちに建

設中止となりました。

一方、今回の総選挙で敗れた野党・国民党は、原子力発電の維持を主張していました。

「たびせん」は今後、原発政策を含めた総選挙後の台湾を探る旅を企画していきます。



台湾第3原発

逆流に抗し、情勢切り開く 核兵器禁止条約

第2回締約国会議に参加して

土田弥生 日本原水協事務局次長

核兵器禁止条約第2回締約国会議が、2023年11月27日から12月1日までニューヨークの国連本部で開かれました。会議で全会一致で採択された政治宣言は、核兵器のない世界の実現へ希望と展望を与え、核兵器禁止条約が多数派の大きな流れになっていることを示しました。

広がる核兵器禁止条約の流れ

第2回会議には、59締約国、35オブザーバー国、世界の市民社会の122団体約700人が参加しました。さらに、会議直前に、人口で世界第4位、経済力でもGDP16位のインドネシアが批准したことが、大きな話題となっていました。NATO加盟国のドイツ、ノルウェー、オーストラリアなどが前回に引き続きオブザーバー国として、建

設的に議論に参加しています。

核兵器廃絶の力強い決意示した締約国会議

第2回締約国会議は、最終日12月1日、政治宣言「核兵器の禁止を堅持し、その破滅的な結末を回避することへのコミットメント(誓約)」を全会一致で採択しました。

ロシアやイスラエルが核兵器使用の脅迫を行い、他の核保有国も核戦力の維持・強化を図るなど重大な逆行のもとで、会議が開かれただけに、この政治宣言に示された核廃絶への力強い決意は、核廃絶を願う人々に希望と勇気を与えました。

政治宣言は、「核リスクの増大と危険な核抑止の永続化に傍観しない」と述べ、「核兵器のない世界のために不断に努力する」ことを誓っています。赤十字国際委員会の代

表は「禁止条約は最も暗い時代であっても前進は可能だということを証明している」と述べました。

核兵器の使用の手を縛る禁止条約

政治宣言は、第1回締約国会議のウィーン宣言に続き、核兵器の使用と威嚇は国連憲章を含む国際法違反であると明確に非難。中満泉国連軍縮担当上級代表は、「ウィーン政治宣言は、核兵器の使用に強い非難を行い、保有国の手を縛っている。G20の声明でも、核保有国がいても、容認できないとの声明が出たことが、それを示している」と述べています。

核抑止力論からの脱却が急務

会議では多くの参加国が、核兵器固執の論拠とされている「核抑

止」の危険と矛盾を指摘し、その脱却が急務だと訴えました。議論の結果、2025年の次回会議までに「核抑止」の危険を明らかにし、「核抑止に基づく安全保障概念に挑戦」する報告書を作成することになりました。この決定に、核保有国や核の傘の国の運動は、大いに励まされています。

核被害者の支援の先頭に立つ禁止条約

会議には、日本、韓国の被爆者をはじめ、マーシャル、アメリカ、キリバスなどから多くの核実験被害者が参加しました。彼らは、現在も続く核兵器による非人道的な被害と苦しみを訴え、一刻も早い救済を求めました。

日本原水協は、「核兵器の非人道性」のパネル討論で発言し、約1000隻に上るピキニ被災の乗組員や漁民たちは、真相究明も補償も救済も何ら受けず亡くなっている事実を鋭く告発しました。

禁止条約の被害者支援と環境修復について定めた第6条と第7条について、この目的を財政的に援助する「国際信託基金」の設立に向けた指針づくりや国際協力などが確認されました。

孤立する日本

日本政府は第一回締約国会議に続いて、第2回会議にも、オブザーバー参加さえしませんでした。被爆者や国民の願いに背を向けるこの



態度は、国民の怒りと批判を買っています。国連総会や今回の会議でも、日本が被爆国でありながら、核抑止力に固執し、何も役割を果たしていないことに批判が集まっています。

昨年国連総会での「核兵器禁止条約」決議は、賛成124、反対43で採択されました。反対しているのは、核保有国、NATO加盟国、アジアでは韓国、日本だけです。

核兵器廃絶を進める上で、日本政府の参加が今や国際的にも重要な課題となっています。被爆国日本が核兵器禁止条約に入れば、それは、廃絶への道を大きく前進させるばかりでなく、現在、岸田政権が進めている大軍拡、戦争する国づくりをやめさせ、非核平和の日本と東アジアへ大きな転換をもたらします。

核兵器のない世界へ草の根の行動を

核兵器のない世界へさらに前進するためには、各国で自国政府を禁止条約に参加させる運動が求め

られています。被爆証言を広め、原爆展をいたるところで開き、「核兵器では平和と安全は守れない」の世論をつくりましょう。核兵器がいかに非人道的な兵器であることを示す被爆証言は、政府の核抑止力論を打破する大きな力になります。

日本原水協は、日本政府に禁止条約への参加を求める署名を展開しています。署名は現在、141万筆余りに到達しています。同じ趣旨の自治体決議も推進しています。決議をした自治体は、自治体総数のほぼ40%、(650)に達しました。アメリカでもバイデン大統領に締約国会議へのオブザーバー参加を求める署名が進んでいます。みなさんもこの活動に参加してください。一人一人の行動が、世界と日本を変える一歩になります。



核兵器禁止条約が採択された国連会議(2017年7月)

東アジアと共に生きる 交流と歴史の旅へ



又吉 盛清
(沖縄大学客員教授)

侵略戦争・植民地 支配の原点

今年、日本軍の台湾出兵(1874年=明治7年)から150周年を迎えます。台湾出兵は琉球人の台湾遭害事件から始まり、琉球の日本帰属(球球処分)、台湾領有(台湾処分)の植民地支配を図るものでした。この近代日本の最初の軍事行動は、やがて台湾・中国・朝鮮韓国などと対立していく、侵略戦争と植民地支配の原点となったものです。

琉球・沖縄にとって琉球処分は、「万国津梁(ばんこくしんりょう=世界の懸け橋)」を旗印に、国際平和を立国の要とした小国琉球が、大日本帝国の侵略戦争と植民地支配の一翼を担い、加害者に転落して東アジアと敵対し、アジア・太平洋戦争から沖縄戦の破滅につながる、沖縄近現代史の総体に関わるものです。



台湾出兵時の日本兵

台湾出兵150周年のこの年に、「負の遺産」の原点と史実を検証し、共通の歴史認識を深め、東アジアの平和で豊かな善隣友好の関係を築き、アジアと共に生きる平和的、歴史文化的交流の未来を探る旅が求められています。

沖縄と台湾植民地 支配

沖縄と台湾植民地支配との関わりで第一に指摘しておかなければならないことは、沖縄(人)が日本政府の植民地政策の下で人的供給源の先兵となったことです。

台湾領有の直後には、早くも沖縄から植民地支配下の武装蜂起など抗日の動きを弾圧する巡査と隘勇(あいゆう=台湾原住民の襲撃に備えるための防衛組織)が派遣されました。次に兵舎、道路、鉄道、港湾、病院、役所等の建設に従事する土木人夫、工具、潜水夫が続き、さら

にそれを追うようにして、慰安婦的な「琉球女」が渡台しました。

武力平定が進み、やや安定すると、今度は多くの沖縄人教員が渡台し、台湾人の同化、皇民化教育に積極的な役割を果たすようになります。台湾総督府は、領有当初から沖縄人教員に大きな期待をかけていました。何故ならば、沖縄は1879年(明治12年)の廃藩置県(琉球統合)以来、明治政府の体制下で沖縄人の同化、皇民化教育を進め、その成果が蓄積されていて、台湾領有時までには、沖縄人教員によって、沖縄人を「日本人化」する教育実践も始まっていました。

これらの沖縄人教員が自ら受けた「日本人化」教育のノウハウを、今度は台湾人を「日本人化」する同化・皇民化教育に適用したのです。

第二に、明治国家による台湾出兵後の「琉球処分」等の強行策の中で着々と進められてきた「南の守り」、侵略の拠点としての沖縄の位置によって、日本政府は台湾領有から植民地統治の実行可能な展望を見出し、さらにその鋒(ほこ)を朝鮮、中国、南洋群島、東南アジアへと拡大する礎を固めることができたのです。

沖縄近代史の出発に当たって沖縄の「不幸」は、500年余にわたる中国との冊封体制の中で交易国家としての善隣友好の平和主義を基調とする「小国の論

理」を投げ捨てて、侵略主義、帝国主義の「大国の論理」に手を貸したことでした。

まさに沖縄と沖縄人は、日本国家に統合され、日清戦争に勝利し台湾を領有することによって、被害者と同時に加害者に転落する琉球沖縄史の始まりを迎えることになったのです。そしてこれらの負の歴史遺産は、今日でも清算できずにいます。

台湾出兵と琉球 処分

台湾出兵は、琉球人の台湾遭害事件の「報復」が出兵の口実にされました。しかし政府の政治的な意図は別にあり、出兵によって「台湾処分」から「琉球処分」を強行し、琉球の帰属問題と台湾領有の布石を打つことでした。

「処分論」としての琉球・台湾の領有論は、沖縄と台湾は不離一体なものとして位置付けられてきました。島津藩は早くも、中国侵襲渡船の台湾築港を琉球との関わりで構想していました。明治政府は、この構想の延長線上で「琉球を定め、台湾を取る」(1874年、台湾蕃地処分要略)長期戦略を打ち出しました。台湾出兵はこの戦略を現実的なものにする戦闘行為でした。

そしてこの台湾出兵の前後にわたって、沖縄全島の軍事測量が開始(1873年=明治6年)されたことや、台湾に近い宮古

島に日本軍8千の駐屯が献策されたのは、沖縄と台湾が軍事的にも不離一体の「運命共同的」な関わりを持ったことを示しています。

「台湾処分」の用語は「琉球処分」と同じように、明治政府の「公用語」として使用されました。その用語は善者である日本が、悪者の琉球と台湾を懲らしめるという、自らを「正当化」する論理でした。その点では教科書でもよく使用されてきた「琉球征伐(討)」、「征台」、「台湾征伐(討)」、「朝鮮征伐(討)」も同じです。これらの発想は今日でも散見され、自戒したいものです。

台湾出兵遺跡の 変遷

沖縄の那覇市には、台湾の琉球人墓地に対応して1898年(明治31年)、時の沖縄県知事によって出兵軍が回収してきた44名の遺骨を祀る「台湾遭害者之墓」が建立されました。この墓地は、日清戦争の勝利後も沖縄に残存する「清朝的な遺物を一掃」し、沖縄人の同化、皇民化教育を強力に推進するプロパガンダに利用されました。

墓地では県当局によって墓前祭が定例化され、その都度、県職員と県下の教員、児童生徒の前で天皇の恩恵を説いた後、「征台」の次第を報告、「国家への報効」が強調されました。また台湾のイメージを「首狩族」、「野

蕃」、「装賊」、「未開の地」、「鬼が島」として定着させることに成功しました。そしてこのような「台湾観」によって未開地を文明化するという大義名分を生み出し、台湾植民地支配を正当化する方向に沖縄人を大きく誘導するようになりました。すなわち「心の痛まない」台湾侵略への精神的な土壌が準備されていたのです。

一方、台湾出兵の戦場跡に日本軍が建立した「大日本琉球藩民54名墓」(琉球人墓地)の碑からは、今日では「大日本」の文字が消去されています。これは、台湾では「大日本」の文字が日本の植民地支配と中国侵略のシンボリックなものとして映っているからです。現地には琉球人墓地の他に台湾出兵に関わる遺跡がいくつか現存しますが、いずれも銘文や台座が削除・損傷して、新しい記念碑に生まれ変わっています。これらは日本人の負の歴史の遺産に関わるものであり、日本人の生き方を問うものになっています。



台湾遭害者の墓



霧社・牡丹社を訪ねる 交流と歴史の台湾周遊6日間

—台北・霧社・牡丹社・花蓮・九份・基隆—



霧社事件記念像

旅行日程 '24年7月(近日発表)
旅行費用 近日発表(成田空港発着基準)
*燃油付加運賃、航空保険料、空港税など別途
定員 30名様(最少催行15名様)
添乗員 同行いたします



◀大日本琉球藩民
五十四名墓

1日目 成田空港から台北へ。午後、台北市内観光(二・二八記念館、総督府など)【台北】**2日目** 台北から台中を通り台湾統治時代最大の蜂起となった霧社事件の現場へ【埔里】**3日目** 埔里から台湾第2の都市高雄へ。高雄から台湾出兵事件の現場へ。地元の原住民の方々と交流【牡丹社】**4日目** 台湾東部の日本統治時代の建物と港灣が残る花蓮へ【花蓮】**5日目** 九份、基隆見学【台北】**6日目** 出発まで自由行動。台北から成田空港へ
■利用航空会社:等は近日発表

◆台湾研究の第一人者と訪ねる台湾まるごと周遊の旅

台湾出兵から150年の今年。日本が戦争と侵略の道に突き進む最初の舞台・台湾を、台湾研究の第一人者・沖縄大学の又吉先生とともに訪問・見学。

◆霧社事件・牡丹社事件の現場も訪れ、現地の方々と交流

日本統治時代の最大の抗日運動の現場「霧社」、そして近代日本最初の海外出兵の現場・台湾南部の「牡丹社」を訪ね、戦跡を訪ね、現地の方々と懇談。史実をよく知り、平和への近い思いを交流する旅。

◆台北近郊の九份・基隆もじっくりと

台北近郊で植民地戦争の拠点となった基隆(キールン)、「小香港」「小上海」と呼ばれ、石炭、金を掘りつくし収奪の現場ともなった九份(キウフン)。観光地として有名な各地のもう一つの顔・歴史もじっくりと。

ベストシーズンに行く! 初めての台湾5日間



▲九份

旅行日程 '24年4月17日(水)~4月21日(日)
募集型企画旅行代金 183,000円※一人部屋代金(44,000円)別途
【別途手配】手配旅行代金(羽田⇄台北の航空券は、別途、手配旅行契約としてお引き受けします)
目安(2023/12/21現在):航空券(65,000円)、燃油サーチャージ(23,000円)及び空港諸税
*お客様は、当社と募集型企画旅行契約と手配旅行契約を締結いただくことになります。

定員 20名様(最少催行10名様)※定員次第締切
添乗員 同行いたします
申込締切 2月14日(水)



◀二二八国家
記念館

旅行日程

4/17 午前、羽田発、エバー航空にて台北へ。阿マの家平和と女性人権館。【台北】**4/18** 終日、台北市内観光。台湾総統府、二二八国家記念館、故宮博物院【台北】**4/19** 終日、郊外観光。金瓜石、九份【台北】**4/20** 午前、新幹線で台北から台南へ。国立台湾歴史博物館見学。専用車で高雄へ。旗津島散策、打狗英国領事館。民芸店。【高雄】**4/21** 午前、新幹線で高雄から台北へ。午後、エバー航空にて帰国の途に。夜、羽田着。
■利用予定航空会社:エバー航空 ■利用予定ホテル:茹曦酒店(台北)、城市商旅・真愛館(高雄)または各都市同等クラス ■食事:朝4食4夕4

◆久しぶりの海外だから、体にやさしい旅を心がけました!

羽田から直行便利用でひとつ飛び。台北では3連泊で荷造りの心配なし。晴れの日も多く、お花も咲き誇り、過ごしやすい気候で、ベストシーズンの台湾へ。

◆初めての台湾という方にお勧めの充実の内容

台湾の2大人気都市、台北と高雄を効率よくめぐれる日程。初めて台湾を訪れる方には外せない観光地、名物料理も組み込みました。

◆観光だけではない台湾を学ぶ旅

38年間続いた戒厳令下では長らくタブーとされてきた台湾現代史上最大の政府と民衆の衝突事件・二二八事件を検証する二二八国家記念館や「慰安婦」に関する資料を展示する阿マの家(おばあちゃんの家)を訪ね、台湾の歴史をしっかりと学び、人権が尊重される平和な世界を改めて考える機会に。

スペインに魅せられ30年 ゆったりとした 時間と人情に彩られて

マドリッド近郊在住 佐藤るみ

スペイン在住30年に近づいた2023年の初め、まさに住めば都と愛着をもっていたマドリッドから110km離れたトレド県のタラベラ・デ・ラ・レイナ市へ転居しました。

「陶器の町」として知られ、市営の立派な陶器博物館もあります。ゆったりと流れるタホ川の河岸に広がる古代ローマの城壁が残る街並みを行き来する日常に、長年身を置いていた都会の喧噪が嘘のようです。

スペイン語の恩師ご夫妻以外は、誰もわたしを知らないこの静かな環境で、文芸翻訳に没頭するつもりでおりましたのに、地元の読書サークルからお誘いを受けて少々参加したところ、職業もさまざまメンバーたちとはほどなく懇意にな



城壁跡

りました。

「隔」週の集まりでは、各人の読後感想に耳を傾け、意見交換をし、夕食会などでは笑いが絶えません。親子ほどは年の差がないのに、母親のように気遣ってくださる婦人がいらしたり、物知りで街中のモニュメントなどを散歩しなが

ら説明して下さる学校の先生がいらしたり、気がつけば、彼らとの楽しいひとときを満喫するわたしがいます。

地方都市ならではの、生活の質がここにあり。そして、スペイン人の人情というものを改めて教えてくれる人々が、ここにいました。

ベトナムの旅のご紹介 アレン奨学会沖縄 石川文洋さんとめぐるベトナム平和研修



戦争証跡博物館

旅行日程 '24年3月3日(日)~8日(金)の6日間

3月3日から8日まで、ベトナム戦争帰還兵だったアレン・ネルソンさんの遺志を継いだアレン奨学会沖縄によるベトナム平和研修が予定されています。

大学生6人を含む10人と同行取材するマスコミ数社が参加。ベトナム戦争の写真を撮り続けたカメラマンの石川文洋さんが全日程同行。(株)たびせん・つなぐが企画・手配をさせていただきます。その日程と事前学習会での学生たちの感想文の一部をご紹介します。

石川文洋さんによる事前学習会での学生たちの感想より

「今まで沖縄戦について学んできたけれど、沖縄が関わっていたベトナムについて学びたい、沖縄が攻撃する側に加担していたことを学び、これからの平和学習に生かしたい!」

「台湾有事を理由にして軍備をととのえていこうとしている。沖縄に暮らしているからこそ戦争の恐ろしさを理解し、平和な世界を築けるよう、自分から発信していける人間になりたい。ベトナム平和研修で戦争への理解を深めたい!」

ウクライナ、パレスチナのが、そして「台湾有事」を口実にした軍備増強と戦争準備が進められている今こそ、戦争の本質を考える旅。ベトナムへの旅を企画してみませんか?

旅行日程

3/3 ベトナム航空で成田空港からホーチミンへ。着後市内見学【ホーチミン】
3/4 午前:市内の大学で日本語学科の学生たちを交えて石川文洋さんの講演、その後懇談会。午後:戦争証跡博物館など市内見学。ベトナムの大学生も一緒にアオサイづくり、市内散策【ホーチミン】
3/5 午前:ツーズー病院平和村またはクチのトンネル、枯葉剤被害者の入所している施設訪問。夕刻:ドクちゃん家族との夕食交流【ホーチミン】
3/6 午前:ベトナム航空でホーチミンからダナンへ。午後:ダナン外国語大学で石川文洋さんの講演と懇談【ダナン】
3/7 山岳地域の少数民族の村などでアレン奨学会からのベトナムの子どもたちへの奨学金贈呈式参加 【ダナン】
3/8 深夜便で帰国の途に

戦争の本質を描いた「ゲルニカ」



普天間 朝佳
ひめゆり平和祈念資料館館長

2023年9月4日から12日にかけて、スペインを訪問した。目的は、無差別爆撃の先駆けの地となったゲルニカの町を訪ねることと、それをテーマにしたピカソの「ゲルニカ」の絵を見ること、そして現地の平和博物館や平和団体の方々と交流することであった。東京の旅行社「たびせん・つなぐ」の企画で、全国各地から23人が参加、沖縄からは佐喜眞美術館学芸員の上間かな恵さんも一緒だった。

ゲルニカ無差別爆撃

ゲルニカはスペイン北部のバスク地方ビスカヤ県にある小さな町である。バスク地方はスペインの中でも独特の歴史や文化や言語を持ち、中世以降、スペインの歴代の王によって自治の特権が認められてきた。19世紀に特権は剥奪されたが、1979年にはスペイン



国会において再び自治が認められる。

第二次世界大戦直前の1937年4月26日、そのゲルニカの町が突然の無差別爆撃に見舞われる。当時、スペインは共和国政府とフランコ将軍が率いる右派との内戦状態にあり、フランコ将軍と手を組んだナチス・ドイツ軍が無差別爆撃を行ったのである。爆撃によって町の85%以上が破壊され、1600人以上の人々が亡くなった。このゲルニカ爆撃は、焼夷弾が本格的に使用された初の空襲であり、敵国民の戦意をそぐために行われる戦略爆撃の先駆けであった。

ピカソの「ゲルニカ」の絵

この爆撃の事実を知り、現代美術の巨匠であるスペイン人のピカソはショックを受け、激しい憤りにかられる。ちょうど、スペイン共和国政府からパリで開催される万博のスペイン館に展示するための絵を依頼されていたので、この爆撃をテーマにした「ゲルニカ」の絵を一気に描き上げ、出品したのである。

「ゲルニカ」の絵は、縦約3メートル、横約8メートルの大きな作品である。この絵には、具体的な戦闘場面が描かれているわけではなく、軍隊や兵器も登場しない。

しかし、戦争による人々の恐怖や苦しみ、悲しみ、その感情のすさまじい切迫感が描かれ、見る者に迫ってくる。この絵は、写実的でないがゆえに、すべての戦争の本質を描き、普遍的なものとなっているという評価がある。

そして大事なことは、戦争で苦しむのは一般市民であり何より女性や子どもたちであるという戦争の本質が、この絵には表現されていることだと私は思う。そしてそれは、沖縄戦にも共通する、現在のウクライナやガザでも不変の戦争の本質である。

ゲルニカ平和博物館との平和交流

ゲルニカ平和博物館はゲルニカ無差別爆撃を伝えるミュージアムである。単にその歴史を伝えるだけでなく、参観者に平和とは何かを問いかけ、参観者とともに平和のためには何が必要かを探っているミュージアムでもある。さらに、被害者と加害者の「和解」に向けた取り組みも重視している。

展示室は4つの部屋から構成され、それぞれ①平和とは何か（導入展示）、②ゲルニカで何が起きたか（ゲルニカ爆撃の展示）、③生存者が語る爆撃（証言映像の部屋）、④今、世界で人権



「ゲルニカ」ピカソ作

はどうなっているか、というテーマを設定している。

展示室を案内してくれたイラッチェ館長は、とてもパワフルで情熱的な女性だった。平和のための博物館国際ネットワーク（INMP）の共同代表も務めている、今回の企画に全面的に協力をしてくれた。展示見学後、爆撃の現場などをめぐるゲルニカ・メモリアルツアーが行われた。

メモリーツアー後の交流会では、イラッチェ館長からゲルニカ爆撃の実態や加害者ドイツとの戦後の和解の歩みについての話、教育部門責任者のイデオリア

らから様々な教育普及プログラムの活動報告を聞いた。スペインの方々が平和活動や平和教育にこんなにも熱心に取り組んでいるということを知り、敬意を抱いた。

ひめゆり資料館と佐喜眞美術館からも館の紹介や活動報告を行った。イラッチェ館長らは沖縄戦のことを初めて知ったと驚き、とても興味深いプレゼンだったと感想を述べてくれた。また、当館に年間50万人近くの方が訪れると知って、とても驚いていた。

質疑応答でイラッチェ館長は「平和構築の取り組みはアリのよ

うな足取りだ。暴力のほうが力強いし、引きこまれる。見学した人が一人でも多く、考えを変えてほしい。それに望みをかけている」と答えていた。その未来への希望を失わない姿勢に強く励まされた。

●筆者プロフィール

1959年沖縄県生まれ。琉球大学法学部卒。1989年ひめゆり平和祈念資料館開館時に職員として採用、学芸課長、副館長を経て、2018年4月より現職。

スペイン平和研究協会との平和交流

マドリードでは、スペイン平和研究協会のみなさんとの交流の機会を持つことができた。

同協会の目的は、紛争のない世界を目指すということ。具体的には
①兵役義務反対
②NATO加盟反対
③核なき世界を目指す
④軍縮
の4つの活動をしている。

1975年にフランコ政権が終わり、80年代にいろいろな活動団体や研究所が開設された。その後、横の連

携を強めようという動きが出てきて、97年にスペイン平和研究協会が設立された（32団体が所属）。

同協会では、年に1回、顕著な活動をしている団体に賞を授与している。2011年から平和首長会議に参加。非核運動にも参加し、国連や他の団体と連携して、核の恐怖を市民に教育する活動を行っている。

私と上間さんから、ひめゆり資料館と佐喜眞美術館の紹介や活動報告を行った。同協会のアン会長は「ひめゆりでも佐喜眞でも平和を構

築するスタッフを教育していると聞いて、私たちが若い人を教育している取り組みと共通すると思った」と話した。

今回の旅は、市民が戦争に巻き込まれ多大な犠牲を払った歴史や自治・民主主義の重要性の認識を共有し合い、平和活動や平和教育に携わる者として互いに励まされ、また今後のネットワークをつなぐための大事な機会になったという点で重要な旅であった。

突きつけられた「ゲルニカ」の叫び



佐喜眞美術館学芸員
上間 かな恵

2023年9月上旬に『ゲルニカ訪問とマドリッドで出会うピカソの「ゲルニカ」9日間』というツアーに参加した。安斎育郎氏（立命館大学名誉教授・同大学国際平和ミュージアム名誉館長）が名誉代表を務める世界の平和博物館ネットワーク（INMP）を通じてゲルニカ平和博物館、スペイン平和研究協会（AIPAZ）との交流・懇談を持ち、戦略的無差別爆撃が行われたゲルニカの現場を見学、独自の文化と伝統、言語を持つバスク地方を回り、マドリッドでピカソの《ゲルニカ》を鑑賞するという（株）たびせん・つなぐ企画のユニークな旅であった。

聖なる町ゲルニカ

マドリッドから専用バスで約5時間、ゲルニカ（正式にはゲルニカ＝ルモ市）は、スペイン北部に位置するバスク州ビスカヤ県の人口1万7千人の古都である。14世紀以来、バスク地方の自治の要であり、町の中心の小高い丘にある檜の「ゲルニカの木」の下でバスクの長老たちは民主的な政治を行い、スペインの諸王たちもまたこの木の下でバスクの自治を誓って来た。ビスカヤ県の首都はビルバオだが、立派な県議会議事堂はこの木に隣接して建てられ、「地方自治の象徴」としてバスク

自治州の紋章に刻まれるほどバスク人にとって神聖な木であり、聖なる場所でもある。

1937年4月26日、その自治の象徴である聖なる町、ゲルニカにフランコ将軍の要請を受けたナチスドイツ空軍は約3時間にわたって世界初の戦略的無差別爆撃を行った。ゲルニカの爆撃は、パリにいたスペイン人のピカソに決定的な怒りと悲しみと決断をもたらし、世界史にのこる傑作《ゲルニカ》が生まれたのである。

自由と尊厳を奪う者への叫び

マドリッドの国立ソフィア王妃芸術センターで《ゲルニカ》を観た。ピカソは、ゲルニカ爆撃の報を受け、速乾性の高いペンキを使用して約1ヶ月で《ゲルニカ》を完成させた。描かれている牡牛、馬、母、子、ランプ、兵士、花、鳥など各モチーフは多義性を持つ難解な作品である。人間の自由と尊厳を殺戮で奪う者への憎悪とそれに対する人類の叫びをピカソは全身全霊で作品に臨んだ。私はその画面から普遍的な怒りと悲しみ、叫びと痛みを確かに感じた。と同時にほっとさせられたのは、この作品を描かせたのはいまこの《ゲルニカ》を見ている「あなた」も、ではないのか、という問い

でもあった。ドイツ将校がピカソに「これを描いたのはお前か!」と詰め寄ると「いや違う。これを描いたのはお前たちだ」と言っていたエピソードがある。ファシズムの独伊に内戦への介入をフランコが求め、第二次世界大戦になだれ込み、日本も重慶で6年間戦略的無差別爆撃をくり返し、日独伊三国同盟を締結、アジア太平洋戦争、沖縄戦、アメリカによって広島・長崎に原爆が落とされ、日本は敗戦を迎えた。その意識をどこか欠落させたままゲルニカの地を訪ね、30年間撮影禁止だった《ゲルニカ》が、私たちが訪問した直前に撮影可能となり、嬉々としてスマホで写真を撮りまくる私にその叫びは突き付けられた思いがしたのだ。

「原爆の図」「沖縄戦の図」と「ゲルニカ」

佐喜眞美術館に常設展示されている《沖縄戦の図》を描いた丸木位里・丸木俊の初めての共同制作は《原爆の図》である。丸木夫妻は、1970年にアメリカで《原爆の図》巡回展が行われたときに、独裁政権が続くスペインにはまだ戻せなかった《ゲルニカ》をニューヨーク現代美術館で観ている。《原爆の図》は日本がまだGHQの占領下にあった1950年に

発表されたが、占領下で「原爆」を描くことは大変な恐怖であったに違いない。しかし、丸木夫妻はその恐怖を超えて人類を滅亡させるものへの怒りと悲しみ、人間への尊厳を画面に浮き上がらせた。ピカソがあの時、巨大な何と対峙したのか、ふたりには瞬時に理解できたことだろう。その後、最晩年に描いたのが地上戦の《沖縄戦の図》全14部である。

辺野古を巡り、また沖縄が揺さぶられている。国が求める辺野古の新基地建設工事に関する設計変更申請を玉城知事は「承認は困難」と回答、国は代執行訴訟を福岡高裁に提訴し、県は敗訴した。平和憲法のもとで本土並みに人権が守られ、わたしたちの声も届くと願った復帰から50年余、この国の法は米軍基地の過重負担を強いられる沖縄を守ってはくれない。

沖縄にとっての「ゲルニカの木」は「辺野古」ではないだろうか。《ゲルニカ》の中央上部に突



沖縄戦の図

き出されて描かれる小さなランプの光のように、止むことがない国による法の爆撃からこの一灯を消さない覚悟を問われているような思いで《ゲルニカ》を眺めている。

●筆者プロフィール

1965年沖縄県那覇市生まれ。佐喜眞美術館学芸員。沖縄県立芸術大学非常勤講師。共著に『時代を聞く―沖縄・水俣・四日市・新潟・福島』（2012年、せりか書房）など。

ゲルニカ訪問とマドリッドで出会うピカソの「ゲルニカ」9日間 ——ゲルニカで考える戦争と住民犠牲、平和のためにできること

秋にツアーを準備しています!

- ◆スペイン北部で独自の歴史と文化、言語を持つバスク地方訪問。
- ◆1937年に世界最初の無差別爆撃を受けたゲルニカ。凶悪な事件への怒りを込めて描かれたパブロ・ピカソ作「ゲルニカ」を、マドリッドのソフィア王妃芸術センターでじっくり見学。



ゲルニカ平和博物館

モデル日程

- ①夜、羽田発✈️イスタンブール(経由)【機中泊】
- ②マドリッド(経由)✈️ビルバオ✈️ゲルニカ【ゲルニカ泊】
- ③ゲルニカ市内観光(ゲルニカ平和博物館とフィールドワーク)【ゲルニカ泊】
- ④午前、自由行動✈️午後、サン・セバスチャン観光【サン・セバスチャン泊】
- ⑤✈️タラベラ・デ・ラ・レイナ。市内小観光【タラベラ泊】
- ⑥日本文学読書サークルの方々と交流✈️マドリッド【マドリッド泊】
- ⑦マドリッド観光(ソフィア王妃芸術センター、プラド美術館など)【マドリッド泊】
- ⑧午前、自由行動。夜、マドリッド発✈️イスタンブール(経由)【機中泊】
- ⑨✈️夕刻、羽田着

感動! 大自然
ふれあい

モンゴル紀行6日間



ウンドゥルシレットキャンプ場

旅行日程 '24年7月2日(火)~7日(日)
募集型企画旅行代金 188,000円 ※一人部屋追加代金別途(18,000円)

【別途手配】
手配旅行代金(成田⇄ウランバートルの航空券は、別途、手配旅行契約としてお引き受けします。)目安(2023/12/21現在):航空券(100,000円)、燃油サーチャージ(2,000円)及び空港諸税、手配手数料:3,300円
*お客様は、当社と募集型企画旅行契約と手配旅行契約を締結いただくことになります。

添乗員 同行いたします
定員 15名様(最少催行人員:8名様) ※定員次第締切
申込締切 4月12日(金)

7/2午後、成田⇄ウランバートル【ウランバートル】 7/3午前、ウランバートル⇄カラコルム(約6時間)、途中、ブルド砂丘見学。午後、カラコルム観光(エルデニゾウ寺院など)【カラコルム】 7/4午前、カラコルム観光(カラコルム博物館)⇄ウンドゥルシレット(約4時間)【ウンドゥルシレット】 7/5乗馬レッスンと乗馬体験、カヌー体験、乗馬トレッキング&遊牧民ゲル訪問。料理教室。夜はキャンプファイヤー【ウンドゥルシレット】 7/6午前⇄ウランバートル。家庭訪問。夜、馬頭琴演奏会【ウランバートル】 7/7早朝⇄ウランバートル⇄成田
■予定航空会社:モンゴル航空
■宿泊施設:Mongolica Hotel & Resort (ウランバートル)、Kara Korin Tourist Camp(カラコルム)、Undershireet Riverside Camp(ウンドゥルシレット)又は各都市同等クラス
*カラコルムとウンドゥルシレットの宿泊はゲルになります。
■食事:朝5昼4夕5

- ◆椎名誠監督の映画「白い馬」の舞台にもなったウンドゥルシレットキャンプのゲルに2連泊。トゥーラ川が大草原を流れるこのキャンプはまさにモンゴルのイメージそのもの。遊牧民に嫁いだ日本人・小山久子さんがキャンプを切り盛りしています。
- ◆乗馬体験、カヌー体験、遊牧民ゲル訪問&交流、星空観賞、伝統音楽・馬頭琴鑑賞など様々なアクティビティをお楽しみいただけます。
- ◆モンゴルのベストシーズンは6~8月ととても短い。この時期はモンゴルでは雨期にあたり、一雨ごとに草原の緑が色濃くなってきます。爽やかな大草原の空気を体いっぱい感じて下さい。

比べて下さい! この価格 シルクロードのアオシス・ウズベキスタン8日間 ~ヒヴァ、ブハラ、サマルカンド、タシケント~

旅行日程 '24年5月31日(金)~6月7日(金)
旅行代金 365,000円(成田発着基準)
・燃油サーチャージ(50,000円:基準日2023/12/1現在)及び空港諸税は含まれていません。
・一人部屋代金(38,000円)別途
添乗員 同行いたします
定員 15名様(最少催行人員:10名様) ※定員次第締切
申込締切 4月12日(金)



- ◆ウズベキスタンの魅力を凝縮した充実の8日間
マケドニアのアレクサンドロス大王、玄奘三蔵、チンギスハンにチムール王。この地の歴史は、太古から続く様々な時代を感じることができます。東洋と西洋の十字路、不思議な魅力がいっぱいのウズベキスタン。主な見所を短期間で効率よく巡ります。成田から直行便利用、ブハラとサマルカンドでは2連泊で体にも優しいのもうれしい。
- ◆ウズベキスタンが誇る4つの世界遺産を全てご案内
中世の街並み残るヒヴァ、商業都市レンガ色の街ブハラ、英雄ティムール生誕の地シャフリサブス、青の都サマルカンドの4つの世界遺産を全て見学。
- ◆現地の人との交流もたっぷり
一般家庭で家庭料理をいただいたり、日本語センターの学生と交流したり。親日家のウズベキスタン人、その人なつっこさ不思議と親しみを感じることでしよう。

5/31午前、成田発、直行便でタシケントへ【タシケント】 6/1国内線でウルゲンチへ。着後ヒヴァへ。世界遺産イチャンカラ観光。【ヒヴァ】 6/2延々と続くキジルクム砂漠を走りブハラへ(約7時間)。昼食は砂漠のカフェ「チャイハナ」。



小山久子のモンゴル通信

モンゴルのお正月の過ごし方

正月の準備-ボーズ作り



モンゴルでは旧正月を祝います。正月の準備で大切なのはボーズ(モンゴル蒸し餃子)作り。新年の挨拶に来た客人に蒸して出すのですが、年配になると家族親戚一同が新年の挨拶に来るので、作る数は3,000個とか並みじゃない数です!なので、日にちを決めて真夜中に子供や孫達が集まり、おしゃべりしながら作ります。なぜ真夜中かというと、大量のボーズを冷凍庫に重ならないようにするには限界があります。そこで、作ったボーズを板や鉄板の上のせて、ペラペラに出します。天然冷凍庫。固まって、くっつかなくなったら、ビニール袋にごそっと入れて、冷凍庫に移し保存します。

正月3日間は、ひたすらボーズを食べ、お腹がはじけそうになります!

ビトゥーン(大晦日)

モンゴルの大晦日も大掃除から始まります。家畜小屋もきれいにお掃除。

オーツと呼ばれる羊の丸蒸しを大きな器に決められたとおりに盛り、北の方角にいる仏様に頭を向けて置きます。もう一つの大きな器に、米カボル

ツク(揚げパン)を敷き詰め、その上にヘビンボーズ(細長い模様つきのクッキー)を重ねて載せていく。その上にエイウェン(丸い模様つきのクッキー)を載せ、最後に乳製品、餡、角砂糖などで飾り、巨大なお菓子の出来上がり。小さいものも作り、仏様に飾ります。

ツァガンサル(正月)

正月には、家族、親戚などが集まりごちそうを囲みながら、厳しい冬を乗り越えて春を迎える事を喜び、一年間の幸せを祈ります。

元日は日の出前に起き、きれいなデール(民族衣装)に着替え、それぞれの幸運の方向に歩き、功德の方向から戻ります。この儀式の後、大地にミルクを捧げ、日の出とともに家族と挨拶を交わします。その後、知人、友人や親戚への挨拶まわりがスタート。1日何軒もまわります。その度、ボーズやオーツを食べ、お茶、アイラグ(馬乳酒)、アルヒ(ウォッカ)、バラシカ(自家製の炭酸ジュース)を飲むのですから大変です。

挨拶まわりは男性だけ。女主人は、挨拶にくる客人を迎え入れるために家に残ります。迎えたゲルの女主人は、客人の帰る前に贈物としてヘビンボーズやオーツをそいだ肉、お金を手渡します。子供にとってはお小遣いを

稼げる機会なので、馬に乗り、勇んで挨拶まわりに出かけます。

さて、正月だからといって、遊牧の仕事やさぼる訳にはいきません。いくつかの家が交替で家畜の遊牧をしており、正月に当番になった家族が、きちんと家畜の面倒をみてくれます。

少し、モンゴルの正月がお分りいただけましたでしょうか?機会があれば、また、モンゴルの暮らしをお届けしたいと思います。

小山久子(こやまひさこ)

OLをしながら、モンゴル語を学び、1999年初めてのモンゴル旅行へ。モンゴルに魅入られ、ウンドゥルシレットキャンプ場で働くことに。そこで同僚の乗馬ガイドの遊牧民青年と恋に落ち、'06年、結婚!冬はウランバートルの日本企業のOL、春・秋は遊牧民、夏はツーリストキャンプのマネージャーと多忙の日々を送る。



知りたい!キューバの‘いま’8日間

～教育・医療・福祉施設訪問と交流そしてビーチリゾート～



旅行日程 '24年3月31日(日)～4月7日(日)
旅行代金 528,000円(成田発着基準)
 ・燃油サーチャージ(43,600円:基準日2023/12/1現在)及び空港諸税は含まれていません。
 ・一人部屋代金(58,000円)別途
 ・ツアーリストカード取得代行費用(6,000円)別途
添乗員 同行します
定員 15名様(最少催行人員:8名様) ※定員次第締切
申込締切 2月29日(木)



3/31 午前、成田発メキシコシティ経由でキューバの首都ハバナへ【ハバナ】 4/1 終日、ハバナ旧市街(世界遺産)観光&ヘミングウェイゆかりのコヒマル観光【ハバナ】 4/2 午前、高齢者施設・保育園訪問&交流。午後、地区診療所訪問【ハバナ】 4/3 サンタクララへ。ゲバラの霊廟(急に閉鎖の場合あり)など見学後、パラデロへ。【パラデロ】 4/4 キューバ随一のビーチリゾート・パラデロで終日のんびりお過ごしください。【パラデロ】 4/5 出発まで自由行動。午後、ハバナへ。夕刻、ハバナ発メキシコシティ経由で帰国の途【機中】 4/6 日付変更線【機中】 4/7 早朝、成田着
 ■利用予定航空会社:エアロメヒコ ■利用予定ホテル:メリアコイーバ(ハバナ)、メリアラスアメリカス(パラデロ) 又は各都市同等クラス ■食事:朝5食4夕5
 ③現在、キューバへの渡航歴がある方の米国への入国には米国査証(ビザ)の取得が必要です。

◆モノはないけど、笑顔あふれる国

まだまだ貧しいキューバ。けれどそこに生きる人々は底抜けに明るい。それは、医療費・教育費は無料、国民の最低限の生活は保障され、将来に不安がないから。高齢者施設、保育園、地区診療所などを訪れ、子供と老年寄り大切にされる国づくりの実際をご自身の目で確かめて下さい。

◆キューバ人いわく「音楽の無い人生はない!」

キューバの街角には、いつも音楽があふれています。それはかしこまったものではなく、それぞれが思い思いに自分流の音楽を楽しんでいるという感じ。「音楽に国境はない!」、うまい下手は関係ありません!キューバに行ったら歌って踊って、楽しみなきゃソンソン!です。

◆いま、キューバで何が起きているのか?

オバマ政権時代の2015年にキューバとアメリカは正式に国交が回復したが、アメリカによる厳しい経済制裁は依然として続き、深刻な物や資金の不足、インフレ(物価上昇)、若者の国外流失など多くの問題に直面するキューバ。あまり報道されないキューバの現状を学びます。

4年間も我慢した自分にご褒美! 初夏に訪ねるカナディアン・ロッキー6日間



旅行日程 '24年6月16日(日)～21日(金)
旅行代金 428,000円(成田発着基準)※2～3名部屋基本
 ・燃油サーチャージ(94,000円:基準日2023/12/1現在)及び空港諸税は含まれていません。
 ・一人部屋代金(62,000円)別途
 ・eTA(電子渡航認証)&登録代行費用別途
定員 10名様(最少催行人員:6名様) ※定員次第締切
添乗員 同行いたします
申込締切 4月12日(金)



◆カナディアン・ロッキーの自然美を満喫!

雪解けあとに咲き始める愛らしい花たちと雄大なロッキーの山々のコントラストはまるで夢のよう。特に氷河が溶け始めるこの時期の神秘的な湖の色は言葉に出来ない美しさ。絶景の中、可憐な花を探しながらハイキングを楽しみます。初心者でも安心してご参加いただけるコースです。

◆田中康一さんが最高のロッキーをご案内

ガイドの田中さんはツアー直前に下見。お天気、開花や残雪の状況、お客様の体調などにより、その日最も良い場所をご案内するという徹底したプロ意識の持ち主。ハイキング中のお昼は州の食品管理資格を持った妻の啓子さんが担当。ふたりの愛がぎゅっと詰まった「あったか〜い旅」。

◆暮らすように旅してみませんか?

キッチン付きの宿に連泊。夕食は、体調や好みに合わせて…というスタイルが好評。スーパーでの買い物も楽しみのひとつ。せかせかツアーはもう卒業、カナダ時間でゆったりお楽しみください。

6/16 夕刻、成田発ロッキーの玄関口カルガリーへ。【バンフ近郊】
 6/17 終日、カナディアン・ロッキー湖めぐり(レイククルーズ、ペイトーレイクなど)【バンフ近郊】
 6/18、19 終日ロッキー・フラワーハイキング。その日ベストな場所へご案内(グラスシーレイクスなどを予定)。【バンフ近郊】
 6/20 午後、カルガリーから帰国の途【機中】
 6/21 午後、成田着

■利用予定航空会社:ウェストジェット
 ■宿泊:Banff Squirrels Nest B&B 又は GRANDE ROCKIES RESORT
 ■食事:朝0食3夕1

タビーズ仲間
 バルカン専門家が
 お薦めするこだわりの旅

民俗音楽・料理、ウェディング満喫 マケドニア滞在5日間



キャプション

旅行日程 '24年7月11日(木)～7月15日(月)
旅行代金 近日発表
 (往復の航空券は含まれていません。ご希望の便で手配いたします)
 *マケドニア4泊のホテル代(2名1室利用)
 *食事:朝4食5夕4などを含む
最少催行 6名様(タビーズ提携の他社との共同募集です)
申込締切 6月10日(月)
添乗員 現地滞在中の日本人添乗員同行



7/11 北マケドニアスコピエ空港で添乗員と合流。ストビ遺跡、ワイナリーなど
 7/12 紀元前4世紀のローマ遺跡、ゲストハウスでの郷土料理と伝統的養蜂見学、民俗博物館、民族舞踊見学
 7/13 世界遺産のオフリッド旧市街、山岳リゾートで宿泊
 7/15 ガリチニク村での伝統的な結婚式見学
 7/16 マザーテレサ博物館などスコピエ市内(詳細は近日発表)

◆モノはないけど、笑顔あふれる国
 ◆ギリシャ北部に位置する北マケドニア共和国。伝統衣装に包まれ、村を上げたウェディングを見学
 ◆ゲストハウスでの郷土料理、民族衣装博物館、ワイナリー訪問と食事など一味違う旅
 ◆バルカン専門家の日本人添乗員同行で、安心、ゆったりの旅

仲間で済州島に行ってきました! 「あっぷる友の会」 奥田道代



①羽田発、空路、金浦経由で済州島へ 龍頭岩など【済州島】 ②漢拏山登山(オリモクコースからヨンシルコース)又はオルトレッキング、島内南部観光(正房瀑布、柱状節理帯など)【済州島】 ③島内東部観光(4・3事件平和記念館、サムングブリ、城山日出峰など)【済州島】 ④ホテルをゆっくり出発。済州島発、空路、金浦経由で羽田へ

自然満喫、歴史を学ぶ台湾の旅。ご要望に沿ったプランをご提案致します。ご家族、お友達どうして出かけてみませんか?



柱状節理帯

友 人たちとたびせんのツアーに参加した時、「屋久島に行ってみよう!でも、もう70代、無理よね〜」と、盛りあがっていたら、「80代でも行ける屋久島」をたびせんさんが企画してくれました!友だちの友だちは、みんな友だち!で仲間を募り、8名で実現、グループ名も「あっぷる友の会」と付けちゃいました。

味 をしめて、昨年は済州島へ。近年、韓ドラ沼にはまっていることもあり、ワクワクです。漢拏山を中心に、自然豊かな絶景が続く済州島。この小さな島に所狭しと見所満載。島をぐるっと回っても、漢拏山が見える!あんな高い山に挑戦したんだなあ、ちとキツかったけれど、改めて感慨深いです。ピビンバ、トゥッペギ、サムギョプサル…体重気にせず食べました!そして、絶対行きたかった、たびせんできたら実現できない「4.3平和記念館」も見学でき、済州島の歴史を垣間見ることができました。

楽しい仲間と行く旅は、
 何を見ても、何をたべても、
 ワイワイ楽しい!
 今年は、
 モンゴルをめざしています!